

# 川西市行財政改革後期実行計画(案)に係る

## 意見提出手続結果

- 1 意見募集期間 : 平成29年11月6日(月) ~ 平成29年12月5日(火)
- 2 意見提出人数 : 1 人
- 3 意見提出件数 : 3 件
- 4 提出意見については別紙のとおりです。  
お寄せいただいた意見は、それぞれの項目に分類し記載しています。  
ただし、個人等が特定される箇所や内容が募集対象に合致しない意見については記載していない場合があります。
- 5 意見提出者の氏名については、個人が特定されることのないよう、アルファベットで表記しています。

意見 番号	意見の分類 (該当のページ、 項目など)	意見の内容	市の検討結果	意見提出者
1	全体	市の財政状況が悪く20億円位ならば市の仕事の効率化を計り、市職員の人数を減らす事も考えに入れ、また市議会議員も26人は多すぎるので減らし(20人でいい)、職員や議員の給料や手当の見直しをすべきです。副市長は二人もいらなと思っていたので一人で(コスト減)活動すべきです。広報かわにしmilife「みらいふ」も配るのに人件費や製作者を減らし、2か月に一度の配布で充分である。人数を減らし一人一人が効率的に業務をこなし財政を増にしていけるべきです。	財政健全化に向けた重点取組項目として、職員人件費の適正化や業務の改善・効率化、組織再編による組織のスリム化などの取り組みを展開していきます。	A-1
2	全体	来年、絹延橋12m道路拡幅に20億も市税をかけるなら5年延ばしてもその分立ち退く料金等20億位としても、40億を市民病院を公立の病院のまま残すために使って赤字を回避し、北部の命を守るためにぜひ考えていただきたい。1万2千人以上の反対署名が集まっている住民の声を1番に聞くべきである。中央にばかり多額の税金を使うべきではなく、入院の出来る現在の病院は絶対に必要です。そのために業務改善をし人数(アルバイトは止める)を減らして(議員数も)見直しを必要とすべきだと思います。	都市計画道路豊川橋山手線の整備につきましては、交通の円滑化や安心で安全な歩行者空間を提供するためには、必要な事業です。 また、市立川西病院につきましては、「(仮称)市立総合医療センター構想案」に基づき、将来にわたり、市民が安心して暮らせる医療体制について検討していきます。なお、今後策定する基本構想においては、パブリックコメントを実施し、皆様のご意見も踏まえ、策定します。 財政健全化に向け、行財政改革後期実行計画に基づいた取り組みを展開していきます。	A-2
3	その他	牧の台の認定こども園や加茂や川西の認定こども園等は、リフォームしてコストを減らし使用すべきで、多額の税金を借金してまで建築すべきではない姿勢に改めるべき案件です。グリーンハイツに認定こども園を建てたにもかかわらず、117名募集したのに半分以下しかニーズがなく幼稚園対応も6人で少ない。公立の松風幼稚園は今後残していくべきです。	市立認定こども園として一体化する幼稚園と保育所は、耐震強度や老朽化の課題があり、抜本的な対策を必要とする施設です。グリーンハイツの認定こども園は、これまで保育施設が設置されていなかった緑台中学校区に平成29年4月に新設されました。平成29年11月現在74人が在籍し、この内0~2歳児は37人で、この年代の合計定員を上回っており、今後の進級に伴って定員を充足するものと考えています。なお、松風幼稚園は、平成30年度末に閉園します。	A-3